

令和5年度愛知県人権教育推進のための調査研究委託事業

「SNS世代の青少年の 非行防止と健全育成の取り組み」

豊橋市人権教育推進実行委員会

■ 豊橋市の紹介

豊橋市



人口：368,529人(県内 5 位)

(R6.2.1現在)



「共働き子育てしやすい街ランキング2023」 全国 3 位

(日本経済新聞社・日経BP「日経xwoman」調べ)

「市版SDG s 2020」 生活満足度ランキング 全国 1 位

〃

幸福度ランキング 全国 3 位

(株式会社ブランド総合研究所調べ)



【背景】

- ・ 青少年を取り巻く社会環境の大きな変化
- ・ スマートフォン等の普及による有害サイトの増加
- ・ 特殊詐欺、薬物犯罪、性犯罪に巻き込まれるなど問題行動の潜在化
- ・ スマートフォンやSNSによる人権侵害（誹謗中傷や児童ポルノなど）

【目的】

- ・ SNSが生活の一部になっている青少年と保護者向けに、SNSを介した犯罪被害の現状と危険性などを知ってもらうため、周知・啓発及びセミナーを実施
- ・ 青少年の人権を守るとともに子どもと一緒に学ぶ機会を提供する

【豊橋市人権教育推進実行委員会】

- ・ 委員構成（7名）

委員長	生涯学習課長
副委員長	生涯学習課長補佐
監事	生涯学習課指導主事
会計	生涯学習課主査
委員	少年愛護センター所長、生涯学習課職員（2名）
- ・ 会議の開催

4回実施（5月、6月、8月、10月）
周知啓発用品及びセミナー内容の検討及び調整

【周知啓発の実施】

目 的	S N S の危険性などに関心のない若者に対し、自然と目につく方法で周知啓発することで、S N S との向き合い方について考えてもらうきっかけを作ること
内 容	S N S からはじまる人権被害の事例(※)をイラストにしたチラシを作成・配布 ※事例の選定にあたっては、愛知県警察本部少年課少年サポートセンター豊橋と内容を調整し、実際に犯罪被害の多い事例や警戒している事例の中から、若者にとって身近に感じやすいテーマを掲載した
時 期	令和 5 年 1 1 月～1 2 月
対 象	市内中学校（2 3 校）の全生徒と市内高校（1 1 校）の全クラス
方 法	中学生：全生徒へチラシ配布 高校生：全クラス掲示
配布数	1 1, 6 0 0 部（中学校 約 1 1, 0 0 0 部、高校 約 6 0 0 部）

■ 活動の実際



豊橋市

【啓発チラシ】

[illegible]

SNSに潜む危険を知ろう

「X(Twitter)」 「Instagram」 「TikTok」 「Yay!」 「KooTomo」
あなたのスマホには、いくつのSNSアプリが入っていますか？
SNSによるネット犯罪の現状とSNSの安全な使い方を一緒に考えましょう。

日 時	2023年 12月9日土 14:00 ~ 15:00	先着 50名
場 所	まちなか図書館 中央ステップ	
対 象	豊橋市内に在住・在学の中学生・高校生及びその保護者 ※親子での参加も可能です。	
内 容	講演・質疑・意見交換 SNS絡みのトラブルや有害サイトなどネット犯罪に関する現状、および中学生が匿名アカウントなどで実名に偽って書き込むことなどは実際に何が起きているのかについて、「自分の年の先生」から質問応答形式で講話を行います。 そして、質疑や意見交換を行いながら一緒に学びます。	
申込方法	専用フォームからお申し込みください	
期 間	2023年12月5日(火)	



講師 浅尾 直宏氏
愛知県警察本郷生活安全課少年課少年サポートセンター

本町では、山崎市立中学校の生徒会役員等から誘われて、また学校でも話を聞いたり、夏休みにあわせて校外活動として地域を訪問したりして、中身の勉強を通して社会にも目を向けたりする機会があります。今回の企画は、今年のお盆行事であるお祭りなどに合わせて、12月5日の夜に特別公開講座を開催いたします。この機会にぜひご来校いただき、お子様の将来のため、少しでも防犯意識を高めていただくことを目的としています。

主 催	豊橋市人権教育推進実行委員会（牛浜学園管内）		
問い合わせ	豊橋市教育委員会生涯学習課	TEL 0532 - 51 - 2846	E-mail shogaigaigaku@city.toyohashi.lg.jp

【啓発チラシ】

- ・「児童ポルノ」と「闇バイト」の事例を紹介

女の子同士だと思って写真のやりとりをしたら…

児童ポルノ



SNSで、裸の写真を知らない相手に送ってしまう事案が急増しています。一度ネット上に流出した画像を全て削除・回収することはできません。このような事例は、男の子も被害にあっています。

また、子どもが加害者になった事例も発生しています。子どもが被害者にも加害者にもならないようにするためにSNSの危険性について子どもと一緒に考えておく必要があります。

一度でも闇バイトをしてしまうと…

闇バイト



短時間で高収入が得られるなど甘い言葉につられて応募してしまい、詐欺の受け子や出し子、強盗の実行犯など犯罪組織の手先として利用されるという事案が多発しています。やめたいと思っても応募のときに個人情報を抑えられているため、「家に行く」「家族に危害を加える」と脅されて逮捕されるまでやめられません。大切な自分の未来を守るため、怪しいかもしれないと思ったら一人で判断せずに家族や周囲の人に相談しましょう。

【セミナーの実施】

講 師

愛知県警察本部少年課少年サポートセンター
浅尾 直宏氏

日 時

令和5年12月9日（土） 午後2時～午後3時

場 所

豊橋市まちなか図書館 中央ステップ

テーマ

S N S に潜む危険を知ろう
～危険が潜むスマホとの上手な付き合い方～

参加者

40名（事前予約制、当日参加可）

対象者

中学生・高校生とその保護者

【内容①】

・セミナー概要

中学生・高校生とその保護者を対象に、SNSに関する犯罪の現状とその対策について、実例を交えながら、トラブルとなった問題点や回避するための心得など事例ごとに説明する内容のセミナー

・講師について

講師の浅尾氏は、高校教諭でありながら愛知県警察本部へ出向しており、現在は若者の非行防止や立ち直り支援などで活躍している。

もともと生徒指導として約20年間高校生を指導してきた経験を持ち、警察官と高校教諭それぞれの立場で現状を把握している本テーマに関する専門家。

ひと昔前と比べた若者の変化について主観を交えた説明に加え、今の若者に必要なものをご自身の経験を踏まえて語られた。

【内容②】

・事例紹介

「児童ポルノ」、「闇バイト」、「違法薬物」について紹介があった。

ふざけて撮った写真から始まる「児童ポルノ」、一度手を出し抜けられなくなった「闇バイト」、SNS上で簡単に手に入る「違法薬物」などについて、実際に愛知県内で起こった事件に関わった職員から聞いた生の声をお話いただいたことで、身近な出来事として聞くことができた。

・アドバイス

こうした犯罪に巻き込まれないためにSNSから自分自身を守る方法についても、SNS上にある機能をうまく活用することの他、投稿する前に傷つく人はいないか、将来の自分を傷つけないかなど一呼吸おいてから投稿する意識を持つことが大切である等のアドバイスがあった。

【セミナーの様子】



【関連図書の紹介】



【進め方】

- ・当事者にとってはあまり関心のない内容であるため、どのようなアプローチの仕方が効果的であるかを意識しながら事業を進めた。

【周知啓発の成果】

- ・啓発チラシを市内中学生約 11,000 人に配布、高校生は全クラス掲示できた。
- ・関心のない生徒やその保護者に対しても広く周知できた。

【セミナーの成果】

- ・集客に困る内容であったが、若者が集まる「まちなか図書館」と趣旨が合ったため、人が自然と集まるオープンスペースで開催でき、参加者 40 名につながった。
- ・SNSからはじまる人権被害については、問題行動のきっかけの根源が若者のさみしさ等のケースが多く、大人が寄り添って対話していくことも重要であることがわかった。

【全体を通して】

- ・業務移管されてすぐの事業であったが、この事業を通じて、愛知県警察をはじめ関係機関との連携強化も兼ねて実施できたことは、今後につながる大きな成果となった。
- ・令和6年度から小中学校向けの出前授業の新メニューとして「身近に潜む危険を知ろう」というテーマで青少年の健全育成と非行防止に関する内容を追加できた。

【今後の課題】

- ・セミナーで学んだ内容だが、こういった若者に対する啓発については、粘り強く継続して発信していくことが大切であることがわかった。
- ・若者へ直接働きかける活動はこれまでなかったため、引き続き関係機関と連携しながら青少年の健全育成事業に取り組んでいきたい。

ご清聴ありがとうございました。